

経営後継者研修だより

4月のトピック 自社分析最後のテーマ「第二創業プラン策定」が始まりました。

4月はこれまでの財務講義の締めくくりとして、財務総合演習（ケーススタディ）に取り組みました。そして、自社分析最後のテーマ「第二創業プラン策定」が始まりました。後継者として企業を存続・成長させていくためには、現状に満足せず新たな企業成長の方向性を模索するために必要です。これまでの自社分析の結果を活かして、今後、第二創業を行う場合にどのような方向性があるのかを考えます。研修生は自社第二創業プランを考える前に、4～5名のグループごとに新規事業プランを考える演習にチャレンジし、クラス内で発表しました。

今月は「財務総合演習」と「新規事業プラン策定」の演習に取り組んだ感想について、広報委員の4名に伺いました。

財務総合演習～財務計画策定（ケーススタディ）～

私たちは今回、財務総合演習で施設の新規建設投資プラン策定を行いました。この研修を通して投資を行った結果、どれくらいの期間で投資金額を回収できるのか、投資を行うことでどれくらい自社の売上高や利益に貢献するのかなどを立地や業界動向等の環境分析と実際に伸びると考えられる予測数値に当てはめて計画することで、事前に起こりうるリスクへの回避や対策が出来ることを学びました。投資計画の策定方法は、自社がこの先第二創業をする際に、新規事業の投資見積もりと中長期的な投資回収を分析する際にとっても役に立つと思いました。【三峰電気株式会社 澤田知紘】

今回はグループに分かれ、架空の葬儀会社を、実在する地で設立するための資金計画演習を行いました。外部環境や市場動向・シェアの予測はどうか。どのようなサービスで、従業員数はどのくらい必要なのか。そして利益を出すためには売上をどのくらい上げなければいけないのか。ほかにも様々な条件を想定し、調べ上げた情報を元にメンバーで考え合い、何度もシミュレーションを重ねました。個の特性を活かした役割を決め、メンバー全員で資金計画をまとめ上げることができました。今回の演習で学んだことは、役割の重要性とマーケティングの考え方、資金計画立案の難しさを少しだけ理解できたと思います。

【竹下産業株式会社 竹下将広】



真剣にグループ演習に取り組んでいます。



財務総合演習の発表の様子です。

新規事業プラン策定の実際【演習】

新規事業プラン策定演習では、大会/練習用施設運営事業者としてeスポーツカフェの出店計画を立てました。このプラン策定をとおして、良い外部環境（追い風）×自分自身の興味があることがポジティブに未来志向で新規事業プランを立てられることを実感しました。そして、自分がやりたいこと×自身が詳しいことが新規事業プランイメージをより明確にすることがわかりました。自社における新規事業プランは、①追い風となる外部環境×②自身の興味ある事柄×③自社の強みの組合せを考慮してまいります。

【株式会社昭栄 黒田智隆】

アイデア出し、という0からグループ内で社名・事業コンセプト・考えられる市場分析・4P分析・資金調達など、多方面を考え話し合いながら検討していきました。私たちのグループは事業コンセプトを早い段階で固めることができたので、最後まで軸をぶらさずに自分たちが納得した事業を提案することができたと思います。また自分では考えつかなかったこと、見逃していたことをグループで検討することで気づける機会となりました。これまで自社の第二創業を考えることに「本当にできるのか？」という大きな不安がありました。今回の演習で学んだ手順・考え方を活かし、周りにも相談しながら進めていきたいです。【富士見工業株式会社 山本縁】

INFORMATION 東京校 企業研修課からのお知らせ

第44期経営後継者研修について

2022年10月から募集開始予定です。募集関係資料送付をご希望される方は以下のフォームからその旨ご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。第44期経営後継者研修の募集関係資料が完成次第、ご郵送いたします。

<https://www.smrj.go.jp/contact/tokyo/index.php>